

十字窓の家

～太陽の恵みを活かした、緑豊かな住まい～

いつからでしょう。
住宅から緑が消えたのは。
分譲地を歩いていると1本の緑もない
住宅を目にすることがある。
そのような家の窓からはどのような景色が
見えるだろうか。はたして豊かな暮らしが
送れているだろうか。

今回私は生活している中で無意識
のうちに外の緑が目にく
住宅を目指し設計しました



建物概要

予定敷地：D
 家族設定：1人～2人
 敷地面積：127.99㎡ (38.72坪)
 建築面積：53.15㎡ (16.08坪)
 2F床面積：24.79㎡ (7.50坪)
 1F床面積：43.39㎡ (13.125坪)
 延床面積：66.53㎡ (20.625坪)
 主要構造：木造軸組工法
 断熱性能：HEAT20 (G2)
 断熱材：デコセルローズファイバー吹込55kg/㎡
 (屋根：1240 壁：1120)
 基礎断熱 ミラフォームλ
 (立上り：460 底板全面敷：140)
 外部建具：LIXILアルミ樹脂複合サッシTW
 Low-Eアルゴンガス入ガラス
 玄関建具：LIXILエルムープ2 k2仕様
 冷暖房：OMX-2 (全熱交換一種換気)

南西側外観



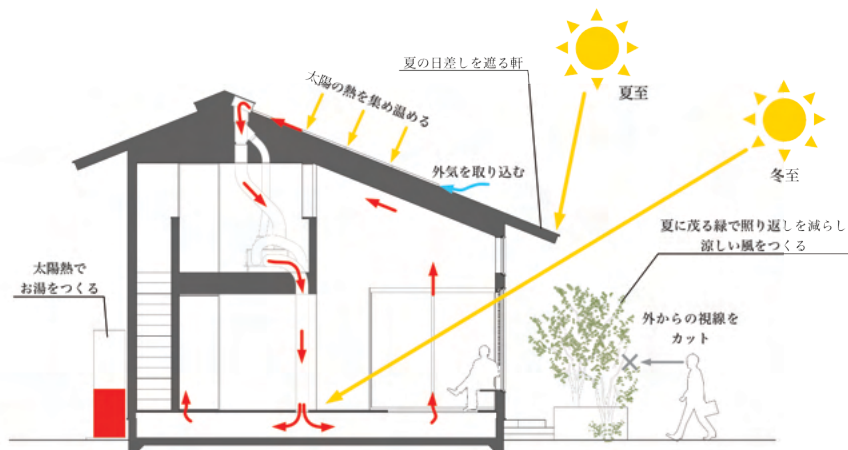
北西側外観



南東側外観



テラス

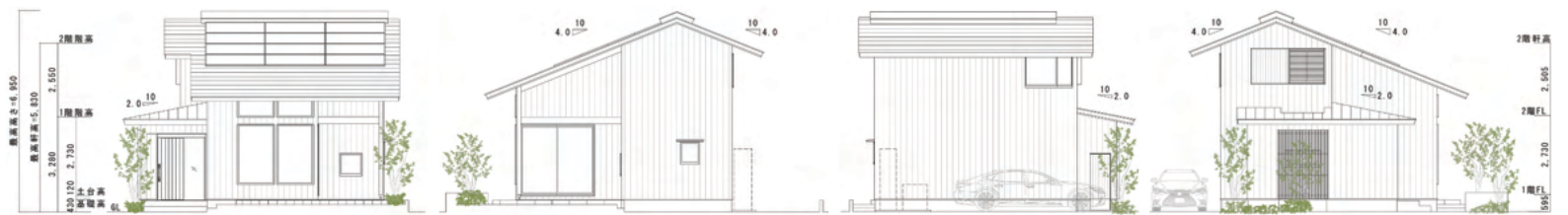


断面図

軒
 の深い屋根は夏の日差しを遮り、室内の温度上昇を防ぐ。冬は太陽の南中高度が低くなるため光や熱を室内に取り込むことができる。また、外壁を雨から守り汚れにも強く、外観を整えます。西側にはルーバーや格子戸を採用し、隙間から漏れる光の変化を楽しむことができます。

室
 内はリビングと上階が屋根形状に沿った勾配天井で繋がる空間構成とし、暖気が上階まで行き渡ることを考え冬の暖房はOMXで床下から温める。

庭
 はGL+250とすることで室内からはより身近に、外からは室内が見えづらい計画とし景観を整える。庭と玄関アプローチの境界を曖昧にすることで雑木のトンネルのような緑豊かな植栽が訪れる人を出迎えます。



南側立面図

東側立面図

北側立面図

西側立面図

緩やかに繋がる空間と光が生む、居心地の良さ。



① 玄関アプローチ

雑木のトンネルのような緑豊かな植栽が訪れる人を出迎えます。

② 坪庭

玄関の地窓とキッチンの2方向から見ることができる坪庭。

③ 造作ベンチ

窓際に設えた造作のベンチ。ベンチとして使ってもよし。床に腰を下ろして机として使ってもよし。ソファを横付けすればサイドテーブルに。観葉植物などを設えれば飾り棚など幅広い用途で使うことができる。

④ リビング

リビングは板張りの勾配天井とし、南と東に大きな開口を設けました。南側をあえてFIX窓とし、出入りを東側の贅沢にといったテラスに限定させた。

⑤ ダイニングキッチン

ダイニングテーブルを作業台として兼用し、キッチン側には収納の機能を持たせコンパクトでも使いやすいキッチンを目指しました。テレビは階段横に壁掛けとし、空間を最小限に抑えました。

⑥ 水廻り

水廻りはコンパクトにまとめたトイレの裏にはOMXのダクトスペースを確保した。

⑦ 外部収納

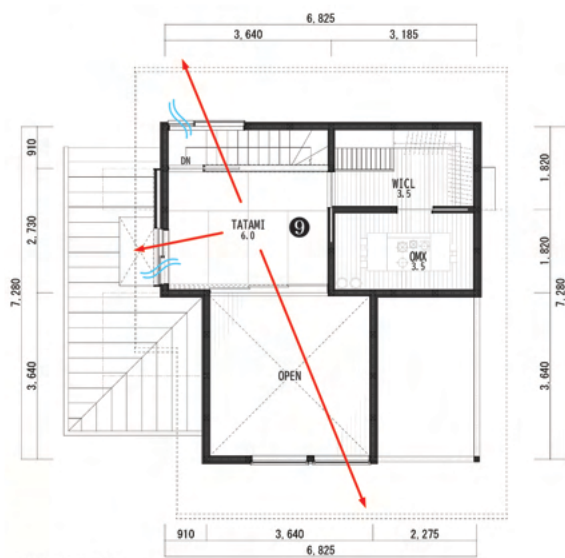
駐車場近くに外部収納を設け、洗濯道具や園芸用品などの保管に役立つ。



配置図兼1F平面図

⑧ テラス

屋根のかかったテラスは周辺環境に応じて植栽や塀などで囲むことにより室内空間の延長として使うことができ、家の大きさ以上に生活をより豊かなものに高めてくれます。



2F平面図

⑨ 2F

2Fは6帖の畳空間、WICL、OMXの機械室、吹抜けで廊下がないシンプルな空間構成とした。WICLには洋服の他に隣の畳敷の部屋で使う布団を収納するスペースも備えた。畳敷の部屋は洗濯して直すまでの動線上に位置するため洗濯物を畳むスペースとしても便利。また、遠くの景色が眺める空間にもなっている。西側の窓は坪庭の植栽が成長すると緑が見え、外部に取り付けた格子戸の隙間からは柔らかな光が差し込む。隣接する吹抜けとの間には障子を納め、緩やかに1Fと2Fが繋がっていく。